

教育情報誌

まなびの風



船橋市総合教育センター 〒273-0863 船橋市東町834番地 TEL 047-422-7730

「クラスみんなで目指せ！体力ふなばしナンバーワン！」

船橋市では、平成25年度から、子供たちの体力向上を目指して、「クラスみんなで目指せ！体力ふなばしナンバーワン！」に取り組んでいます。運動種目は県の事業「遊・友スポーツランキングちば」と同じ8つの種目で、各校で取り組んだものを市教育委員会に毎月報告します。1年間を通してその報告が多い学校は、児童生徒の体力に関する取組が顕著であったということで、船橋市小中学校体育連盟より表彰されます。

8つの運動種目

- ①みんなでリレー ②長縄連続8の字跳び ③長縄みんなでジャンプ ④みんなで短縄跳び ⑤連続馬跳び
⑥ボールパスラリー ⑦バスケットボールフリースロー ⑧サークルターゲットスロー（特別支援学校・学級）

＜様々な時間における取組＞

西海神小学校 ～朝運動の時間に～

朝運動の中で、長縄みんなでジャンプ、バスケットボールフリースロー等の種目に取り組んでいます。みんなが心をつなげて取り組む事で、お互いに励まし合ったり、足りないところを補ったりする良さも生まれます。

バスケットボール
フリースロー長縄みんなで
ジャンプ

田喜野井小学校 ～業間休みに～

業間休みに全校で、体力づくりに取り組んでいます。月ごとに種目を決めて練習を重ねることで、力がついていくことが実感できます。長縄連続8の字跳びにより、みんなが一つの目標に向かうことで一体感も生まれます。



長縄連続8の字跳び

行田東小学校 ～体育の時間に～

体育の時間に、それぞれのクラスで体力づくりに取り組んでいます。全校長縄集会に向けて長縄連続8の字跳びを練習しています。また、仲間同士で声を掛け合いながらみんなで短縄跳びを行い、技能の向上を目指しています。



みんなで短縄跳び

報告数が多い学校 歴代上位入賞校（8位までが入賞） 保健体育課より

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
平成25年度	西海神小	咲が丘小	坪井小	宮本小	大穴北小	飯山満南小	田喜野井小	二和小
平成26年度	西海神小	行田東小	法典小	坪井小	葛飾小	咲が丘小	小栗原小	芝山東小

学べ！磨け！輝く未来へ！第25回教育フェスティバル ～新企画・追加企画で3700名が来場～

10月31日・11月1日の2日間にわたり、教育フェスティバルが船橋市総合教育センターで開催されました。今年で25回の節目となるフェスティバルでは、新企画・追加企画が特に好評でした。

＜新企画＞

○市立船橋高校吹奏楽部が生演奏を行いました。総勢100名の部員がホールいっぱいに迫力ある美しい音を響かせました。その演奏は、聴いている人の心を震わせる感動的なものとなりました。また、澄んだ歌声や切れのあるダンスも披露しました。



市立船橋高校吹奏楽部

○今年度から船橋市をホームタウンとしたプロバスケットボールチーム「千葉ジェッツ」の紹介コーナーには、未来のプロバスケットボール選手を夢見る子供たちの視線が集まりました。



千葉ジェッツ紹介コーナー

○ロボカップ世界大会で2014年、2015年と2連覇した千葉工業大学工学部ロボティクス学科のロボットサッカーの実演が行われました。人工知能を内蔵したロボットが、ボールを感知して自ら考えてシュートをする様子を子供たちも驚きの目で見つめていました。



ロボットの实演

＜追加企画＞

○市立船橋高校地学部によるプラネタリウムでのライブナレーションが行われました。日頃から、星や天体に興味を持つ地学部員が、プラネタドームに輝く星を見ながら、丁寧に解説をしました。

○第4回目を迎える「算数・数学チャレンジふなばし」の表彰式では、市長賞受賞者によるプレゼンテーションが行われ、課題の解き方をわかりやすく説明しました。

船橋市公立学校教職員の研修

船橋市は、後期教育振興基本計画の中で、教職員の指導力向上を目標のひとつに掲げています。具体的な取組として、船橋市総合教育センターでは、船橋市教職ライフステージによって、経験年数に応じて継続的に研修を行うように体系化を図り、計画的に研修を実施しています。

初任者研修

初任者は、校内において指導教員を中心とする指導及び助言による研修(年間240時間以上)を受けることになっています。また、船橋市総合教育センター等で研修(年間20日以上)を受けます。これらの研修を通して実践的な指導力や使命感を養うと共に幅広い知見を身に付けます。



松戸徹市長から「船橋の市政について」という講話もいただきました。その中で「子供たちは未来の担い手であり次代は子供たちがつくる。だから教職員は船橋・日本・世界の未来をつくっていることになる」という話をいただきました。



初任者も訪れた船橋アンデルセン公園は、トリップアドバイザー国内テーマパークランキング第3位に選ばれました。

県民の森で自然体験。自然のすばらしさを感じ、その中から授業に生かせるものがないかと考えながら学ぶことができました。



船橋漁港で、魚の水揚げの様子や仕事を見学しました。ここで子供たちが海苔づくりを体験できることがわかりました。



10年経験者研修

グループで好ましいコミュニケーション能力の育成について、意見交換を行いました。

10年経験者は、個々の能力や適性に応じて研修を受けることになっています。校内において授業研究等を通しての研修や個々に設定した課題研究等の研修(15日以上)を行います。また、夏季休業期間を中心に、船橋市総合教育センター等で研修(10日以上)を行います。



パワーアップ英語研修

国際人として活躍する子供たちを育てるために英語に親しみ、楽しくコミュニケーションを図れる授業の進め方について学びました。



子供が喜ぶ音楽研修

実技研修も行いながら、楽しい音楽の授業について考えました。また、子供たちが楽しく活動することを通して音楽好きになる授業の進め方を研修しました。



掃除の仕方の研修

ふき掃除もほうきの使い方も基本的なことが大切だということを改めて確認しました。



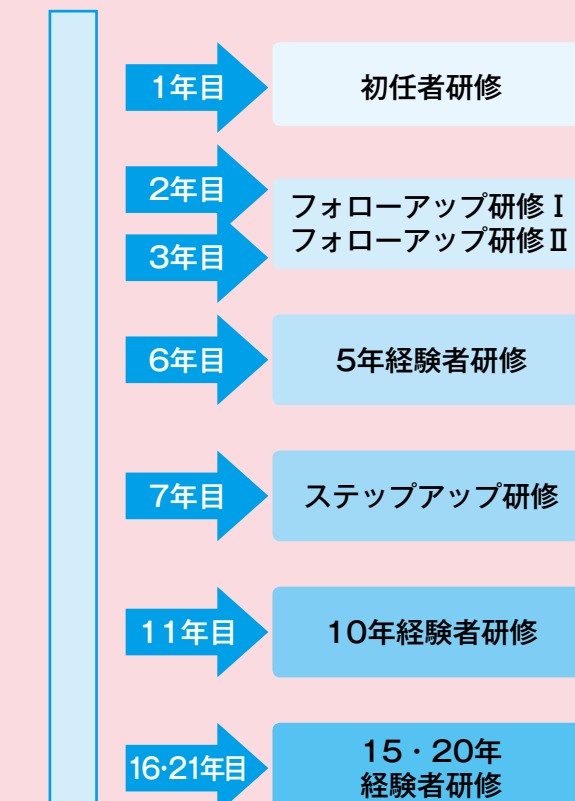
スキルアップ理科研修

安全面の配慮について確認しながら実験しました。また、理科の魅力を味わわせるための授業の進め方について研修しました。



来年度は、次回学習指導要領改訂のキーワードであるアクティブラーニングや「船橋市教育大綱」に示された主権者教育などの新しい研修の取組も計画しています。本号では、船橋市総合教育センターで行っている研修の様子について紹介します。

船橋市教職ライフステージ研修概要



学び続ける教職員を目指します

学校経営・管理研修	校長、副校長・教頭、教務主任 等
担当者対象の各種研修	特別支援教育、学校事務、スクールカウンセラー、情報教育 等
希望研修	研修受講希望者

子供の発想を生かす図画工作・美術研修

絵は情報であり、伝えるものであるということ、子供たちに指導する大切さを学びました。



こころの教育研修

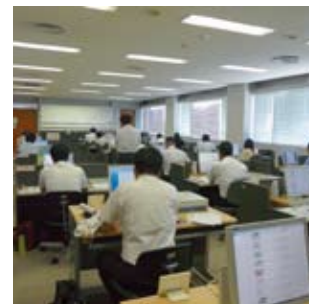


グループによる話し合い活動をし、いのちの大切さについて学びました。



情報モラル研修

コンピュータを使う時には、ルールやモラルを踏まえて活用することが大切だということを研修しました。



幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続研修

「幼稚園・保育園・小学校の連携が大切である」という講演を聞いた後、職員が地域ごとに集まって、情報交換をしました。また、お互いに連携を図っていくことを確認しました。



各学校ごとに様々な研修も実施

湊町小学校教職員の研修 ～自作自由研究～

校内教職員が自由研究をし、作品展を行いました。クラスの子供を思い描いて作成された作品がたくさんありました。また、子供たちの学習に役立つ作品が多く、教職員の愛情も感じられる力作の発表となりました。



新校舎紹介 湊中学校～防災にも対応した設計～



1階は駐車場



2階に昇降口



5階建ての校舎・屋上に避難スペースを確保



緊急車両の駐車スペース

湊中学校は、海に近いので、津波や浸水を意識したつくりで、2階から上の階に教室が設けられています。

そのため、生徒の昇降口は2階に、また、校舎の前には、消防活動用の空地が確保されています。



避難場所と校舎の境



エレベーター



壁に収納された担架



バリアフリーのトイレ（各階に設置）

1階の多目的室は、量が数かれ広々とした空間になっています。普段は、武道場として使われています。災害時には、地域の方が避難場所として使用します。



1階 多目的室（災害時は避難場所）

第4回 算数・数学チャレンジふなばし

今年度も「算数・数学チャレンジふなばし」が8月に開催されました。算数・数学好きな子供を育てると共に「考え方」「表現力」を高めることを目標にしています。ファーストチャレンジでは、筆記試験が行われ、ファイナルチャレンジに小学校28名、中学校30名が進出し、自己の可能性に挑戦しました。その中から8名が特別賞・金賞を受賞しました。

表彰式 10月31（土）

10月31日の表彰式では、小学校、中学校とも市長賞受賞者が、堂々とプレゼンテーションを行いました。



受賞者一覧（特別賞・金賞）

（敬称略）

		小学校名	氏 名	中学校名	氏 名
特別賞	市長賞	峰台	大江 奈月	海神	田中 瑠子
	議長賞	葛飾	郷田隆一郎	高根	大平 光彦
	教育長賞	葛飾	大沢 光	宮本	熊川 智也
金 賞		高根東	丸山麟太郎	旭	小島 拓真

わが校の給食自慢レシピ 八木が谷中学校編

☆船橋産の旬の食材を食べて知る日 献立☆

『揚げブロッコリーのマリネサラダ』

食材の産地は、各学校のウェブサイト毎日公表しています。



材 料（4人分）

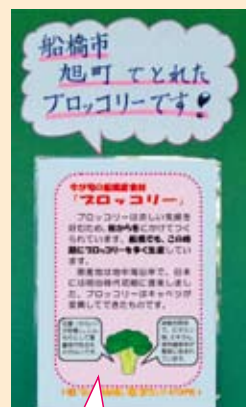
ブロッコリー…………… 中1/2個
揚げ油…………… 適量
ハム（1cm色紙切り）… 1枚
レタス（一口大にちぎる）…………… 中2枚
トマト（皮は湯むきして、1cm角切り）…………… 中1/2個
サラダ油…………… 小さじ1と1/2
ワインビネガー…………… 大さじ1
砂糖…………… 小さじ2
タマネギ（すりおろす）…………… ひとかけ
塩…………… 小さじ1/3
胡椒…………… 少々

作り方

- ① ブロッコリーは水分をよくふき取り、低めの油で揚げ、油をきっておく。
- ② ハムは蒸すか茹でて、冷ましておく。
- ③ Aをよく混ぜてドレッシングを作る。
- ④ 食べる直前に、全ての材料を和える。



八木が谷中学校 栄養教諭 芦田 絵美



毎月市内小中学校で実施している「船橋産の旬の食材を食べて知る日」について、ランチルームでは声をかけたり、資料の掲示をしたりしています。同時に各クラスにも資料を配付し、知らせています。12月の食材のブロッコリーは揚げると香ばしく甘みも増します。また、茹でたものと違う食感も楽しめます。